

TOPICS

2011年2月仕入強化のため

「ヒラキ特価大商談会」を開催

店舗展開における創業姿勢であったバラエティ・ディスカウント・ストアとしての原点に立ち返り、特価商品・特売商品の一層の充実を図るため、既存取引先との特価大商談会を開催、今後定例化してまいります。



スクールシューズ **1,000万足突破!!**
販売以来

《商品一例》

★必需品がこの値段★

- ①底ゴムは厚手ですべりにくい全面ラバー
- ②甲ゴムは日本製
- ③中敷ステッチでしっかりしたつくりのインソール
- ④16.0cm～26.0cmの豊富なサイズ展開!



¥680(税込み¥714)

当社企画開発商品のご案内

平成22年4月～平成23年3月に発売し好評いただいたアイテム



**もこもこ親子
ポアブーツ**
¥476(税込み¥499)
約60万足販売した大ヒット商品。

平成23年4月からのおすすめアイテム



ジュニアスニーカー
¥476(税込み¥499)
通学にスポーツに最適なジュニアスニーカー
反射材付で夜も安全。



甲美人スニーカー
¥476(税込み¥499)
少し浅めの甲デザインが足を美しく演出。



**ファミリー
タウンサンダル**
¥285(税込み¥299)
18.5cm～28.0cmまで豊富なサイズ展開。



パレエカジュアル
¥680(税込み¥714)
ちょっとそこまで♪おさんぽパレエシューズ流行のマリンテイスト。



おしゃれレイン
¥680(税込み¥714)
丈、筒幅、クッションにこだわりました。中敷を取り外して乾かせるのも便利。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 株主優待 毎年3月31日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式買取のお申出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待特典のお知らせ

毎年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社お買い物券(2,000円相当)を贈呈いたします。
※当社お買い物券は当社通信販売、また兵庫県にありますディスカウント店舗にて使用できます。
※贈呈時期は毎年8月中旬頃の発送を予定しております。

靴まつり・靴供養の開催

毎年9月2日を「靴の日」と定め、生野事業所(兵庫県朝来市)において靴まつり・靴供養を開催(開催日は例年8月最終日曜日)しており、地元の方々に楽しいお祭りの場所を提供させていただいております。靴供養の開催に合わせて、ご不要となりました靴の回収数に準じ社会福祉団体に寄付を行っております。



靴への感謝の気持ちを短冊に。
大賞賞金 30万円!! **ヒラキ靴短冊大賞作品募集中!**
応募方法など詳しくは、<http://www.hiraki.co.jp/>をご覧ください。

ヒラキのホームページでは、タイムリーなプレスリリースやIRニュースのほか、会社情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。また、HIRAKI Shoppingサイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

<http://company.hiraki.co.jp/>

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先: 経営戦略室]
〒654-0035 神戸市須磨区中島町3丁目2番6号
TEL: 078-731-2322 FAX: 078-731-2192

「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。



ベーシックを基本とした安心と信頼

親子ペアサンダル ¥476(税込み¥499)

第34期

HIRAKI COMPANY REPORT
株主通信

平成22年4月1日～平成23年3月31日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 このたびの東日本大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。
 さて、当社第34期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役 社長執行役員
向畑 達也

連結	
売上高	22,410百万円 (前年同期比8.1%減)
営業利益	625百万円 (前年同期比10.2%減)
経常利益	409百万円 (前年同期比24.7%減)
当期純利益	218百万円 (前年同期比37.6%減)
1株当たり 当期純利益	45円06銭 (前年同期比26円45銭減)
期末配当	10円 (前年は15円 普通配当10円・記念配当5円)
	年間配当20円 (前年は25円 普通配当20円・記念配当5円)

事業の概況

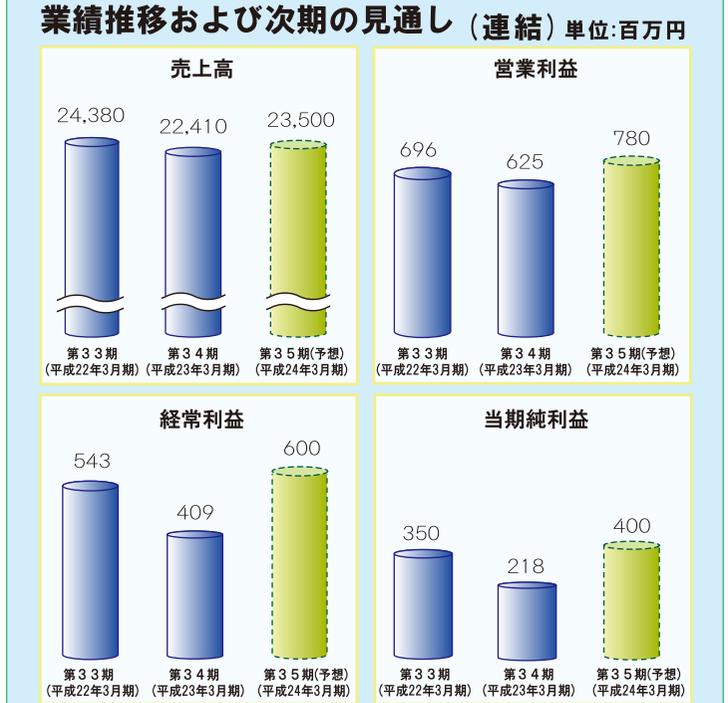
当連結会計年度における当社グループは、「お客様が本当に欲しいと思われる商品を、他社を圧倒する低価格で提供する。」を基本方針とし、「絶対的な安さ」をさらに追求して、「開発商品」の商品力強化および「特価商品」の仕入力強化に特に注力し事業展開を進めてまいりました。

「開発商品」の強化策として、特に『499円もこも親子ポアブーツ』は、約60万足を販売する大ヒットとなりました。また、衣料関係では、前シーズンに発売しご好評いただきました高機能繊維『warm fresh(ウォームフレッシュ)』快温発熱インナーに続き、夏のアイテムとして、高機能涼感素材『ICEFIL(アイスフィル)』を使用した涼感ウェアを全10アイテム新規投入、続く秋冬商戦では、高機能発熱スポーツインナー『megaHeat(メガヒート)』を展開し、人気商品のラインアップを充実させてまいりました。

「特価商品」の強化策として、取引金融機関様のご協力による当社単独でのビジネスマッチングの開催や、既存取引先との特価大商談会を定例化する等、仕入先の開拓および協力関係の強化を精力的に展開し、さらに、平成22年10月1日より今後の事業経営においては、経営資源を集中し、当社の強みを最大限に活かし、機動力をもって展開していくことが必須であると考え、「営業本部」を新設し、分散させていた各カンパニーを営業本部に全社統合し、「開発商品事業部」と「ディスカウント事業部」の2事業部制へ転換することで「開発商品」および「特価商品」のさらなる強化に弾みをつける体制といたしました。

当連結会計年度においては、春先の冷え込み、秋冬商品の立ち上がり時期である9月の記録的な猛暑等の影響に加えて、東日本大震災の影響により、通信販売事業の売上が低迷いたしました。

利益面につきましては、通信販売事業における徹底したローコスト・オペレーションの継続的な実施、卸販売事業のOEM商品を中心とした販売体制への移行による粗利改善、専門店事業の撤退による営業損失の削減等を行ってまいりました。



事業のセグメント別概況

通信販売事業

■春先の冷え込み、秋冬商品の立ち上がり時期である9月の記録的な猛暑等の影響に加え、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による被災地域への商品の未着、関東・東北地方へのカタログ配布の自粛等により、売上高の獲得に苦戦いたしました。

ディスカウント事業

■新規出店の姫路店の通期営業となり新築移転した日高店の好調により、売上高は増加いたしました。しかし、経済環境の影響により消費者の低価格志向・節約志向が一層高まり、お買上単価が下落したことや新築2店舗の減価償却費の増加等により販管費が増加したため利益の確保に苦戦いたしました。

卸販売事業

■取引先を絞り込み、OEMを中心とした販売体制に移行したことにより売上高は減少したものの、粗利益が改善するとともに、商品供給方法の見直し等により物流コストを削減し、黒字化いたしました。

専門店事業

■平成22年10月31日をもって全店舗の閉店を完了いたしました。結果、固定的に発生していた本部経費の削減等により営業損失の圧縮が図れました。

事業別売上構成比 連結売上高 平成23年3月期

22,410百万円

中期事業戦略

成長と収益力の強化へ ～SPAモデル確立へ～

- 事業ごとの収益モデル確立による「収益力の強化と多様化」を実現**
 - コア事業(通販)の強化に加え、既存事業の収益力の強化と、ディスカウント店事業・卸OEM事業との連携強化
- 3つの販売態の相乗効果による「大量発注力の強化と効率経営」を実現**
 - コア事業(通販)の拡大に加え、各事業の商品共用による発注ロットの引き上げ(大量発注力強化)
 - 物流業務・通常業務の集約による効率化
- 生産委託先の拡大**
 - 中国 + 東南アジア各国における生産委託先の新規開拓の強化
～バングラデシュでの取組み

「東日本大震災」における支援活動

当社では、被災者の皆様の救援や被災地の復興に役立てていただくため、物資および義援金をお届けいたしました。

イ. 支援物資
 スニーカー、長靴、衣料、肌着、靴下、寝具、タオル、防寒小物、マスク等の生活必需品 164千点を被災地域の災害対策本部へ3月31日までにお届けいたしました。

ロ. 義援金
 震災発生日以降4月30日まで、当社従業員からの募金およびディスカウント店舗での店頭募金ならびに当社通信販売でのご購入1件につき当社より100円を寄付させていただき、合計28百万円を日本赤十字兵庫県支部へお届けいたしました。

平成24年3月期 連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第2四半期(累計)	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円銭
	11,900 4.2	320 42.0	230 174.4	150 266.5	31円09銭
通期	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円銭
	23,500 4.9	780 24.6	600 46.5	400 83.2	82円91銭

当株主通信はコスト削減の一環として、社内製作(Adobe Illustrator使用)しております。